

はなみの

題字 瑞龍寺 起龍軒老大師



第45号

令和2年7月20日
発行:臨濟宗妙心寺派
北海道教区

令和二年度花園会推進チーム

十牛図 第六講「騎牛帰家」

十牛図 第六講「騎牛帰家」

私は仏の中に住む

おかげさまの心
一ありのままこそ仏さま一
無事是貴人



家歸牛騎

講六第

今、新型コロナウイルスによる疫病が世界中に広がり、人々が様々に困苦しています。不安や恐れで毎日生活しています。何もなすすべもなく外からの出来事に振り回されているところです。

上の十牛図の絵には、牛に乗っている人が笛を吹いてゆったりと安らかに牛と共に歩んでいます。つまり、「私は仏の中に住む」ということです。「衆生本来仏なり」に気付き、仏を知った心の在り方を絵に表しています。

そうであれば、この現実の厳しい世の変化の中でただ流されたままでなく、自己を依りどころとした新しい生き方を見つけるはずです。何もなすすべもなく、手ぶらのままの心の有り様でなく、「心」という大地の山に樹を一本植える境地を作つて頂ければと念じています。

「ごあいさつ」

北海道教区宗務所長

室蘭市法眼寺住職 船場一讓

「妙心寺派の財政が窮屈に！」

北海道教区宗議会議員

霧多布正宗寺住職 松浦明恭

「花園会会長就任挨拶」

北海道教区花園会会長 菅田信博

教区寺院諸大徳に於かれましては、ご健勝にて日々檀信徒皆様への教化布教にご精進の事お喜び申し上げます。また、ご寺庭ならびに花園会会員の皆様に日頃より花園会活動にご理解とご尽力を頂き心より厚くお礼申し上げます。本年は2月よりのコロナウイルス感染流行の為に、あらゆる社会活動が制限され、私たちひとりひとりに今まで以上の強さと、忍耐がもとめられております。

台湾には、末法の世に弥勒菩薩が出現して悩み苦しむ衆生を救ってくださるという信仰があります。

近年日本では、未曾有の地震や毎年の豪雨災害が続いて発生しておりますがその都度乗り越え復興して参りました。これは、ひとりのスーパーヒーローの出現で成されたのではなく、私たちひとりひとりの努力と忍耐そしてお互いを思いやり協調と協和によって成し得たものであり、私たちが日頃精進と信心（おかげさまのおもい）で生きているという証である思いです。

諸行事が延期や中止となり、活動も制約される年になりましたが教区寺院ご住職、教区役員、花園会会員皆様の協力を得て参りたく宜しくお願ひ致します。

花園会は、本山開基花園法皇様の「報恩謝徳の思い、興隆仏法の志し」の御心を旨とし、教学部や花園会本部など、妙心寺派の導きを道するべとして同信同行の道を歩んで参りました。

その妙心寺派が、財政的に窮屈になります。管長様に対する花園会からのお中元やお歳暮の廃止、宗務総長や内局部長の特別手当の削減、花園会報『おかげさま』の減数など、痛々しくらいに身を削る努力をしています。

老朽化著しい宗務本所も、総長の「宗務本所のスリム化を図りつつ、妙心寺派の一員であることに喜びが持てる宗門に」との理念から建て替えをせず、花園会館東側に建設中の、花園学園一号館に間借りすることになりました。

しかし、妙心寺派を未来に繋ぎ、喜び持てる宗門にするには、これ以上の歳出削減は限界です。花園会員数の正確な登録とあわせて、皆様のご理解とご協力を願う日が遠くないことをお許し頂きたく思っています。

特に今年はコロナウイルス問題で、檀信徒の皆様をはじめ、大勢の皆様がかつてない苦労をされており、経済的にもリーマンショック以来の困窮をされて居ります。早くコロナウイルスの終結を望むものです。

花園会活動も今の状況では何も出来ず、只収束を待つのみです。

会員皆様のご健勝とご多幸と、花園会活動の発展を祈念致し、会長就任の挨拶とさせて頂きます。

シリーズ
こころの
時間

福岡県開運寺池上寛道

新型コロナウイルスは、全世界の人々を恐怖に陥れ経済的にも倒産や失職などの大きな災難となりました。約百年前には、スペイン風邪と呼ばれるインフルエンザが世界で大流行し、当時の世界人口の二十五%に当たる五億人が感染し、千七百五十千万人あまりの方が亡くなつたといわれます。

今回、感染拡大阻止のため長期にわたる「自粛」が要請され、その「自粛」疲れのストレスによる問題も起きています。感染者に対して、「こんな自粛で不自由な生活

はあいつらのせいだ。」と、営業している店に避難の張り紙が張られるということがおきています。（営業する方においても、それぞれの事情があることは思いますが）問題は、誰がしたかわからないようにして張り紙をするということです。またSNS上で不正確な情報を感じ込んで非難したり、医療関係者の子どもが幼稚園などから拒否されるということも起きています。被害を受けられた人は、「コロナウイルスより怖いのは人間だ」と言っています。

走る人が多く現れました。こういう非常時だからこそ冷静沈着が必要なのです。

「坐禅」とは、心と身体と呼吸を調えること。ぶれない生き方、心の坐りが普段から具わっていなければなりません。情報が正確なものであるか、自分でよく判断をしやすいに他人の言動に惑わされないことが大切です。

臨済禅師は、「だましたり、だまされたりすることがない」ようにと厳しく言われます。他人を非難するだけではなく、「では、自分はどうだろうか」と、外にばかり向いている目を一度自分の内側へ向けてみましょう。

自分は正義だと思つてゐる人ほど、正義から遠いところにいるのかもしれません。こういう時だからこそ、惑わされない心と優しさの心が大切です。

関東大震災の時、デマに惑わされ大勢の人が犠牲になつています。大災害は人間性を変えます。東北の大地震の時には、避難所に整然と並んでいる姿が称賛されましたが。ところが今回は、買いために

令和元年十月三・四日、全道各所より九十二名の参加者が集い「北海道教区花園地方大会」が、旭川トヨーホテルで行われました。大本山妙心寺より花園会本部長・古山敬光師の基調講演「たまごの心」と、落語家・笑福亭松枝による加行礼拝。起龍軒老大師によらぬのが仏さま」と、落語家・笑福亭松枝による加行礼拝。坐禪・写經等、一日間にわたり充実した時間を過ごす事が出来ました。



大会日程	
【十月三日】	
六:00 開 静 (起床)	一三:00 集合・受付
六:30 朝 課 「般若心經・開山回向」	一三:30 開会式・加行礼拝
七:00 坐 禪 直日坐禪指導 船橋宣裕師	一五:00 講 演
八:00 写 経 「たよらないのが仏さま」 花園会本部長 古山敬光師	
二:00 開 枕 (就寝)	
【十月四日】	
六:00 休 憩	一六:30 休 憩
八:45 開 會式	一七:00 坐 禪
九:15 講 演	一八:30 懇親会 「食事五觀の偈」 臨青僧の会会長 大橋宗俊師
写經指導 大西智良師 「おかげさまの心」 落語家 笑福亭松枝師	二:00 開 枕 (就寝)



○ ちょっとイイ話し ~Part2~ ○

ホッとひとやすみ

「お経で、いいね！」
兵庫県明石市 常楽寺住職 小川 太喜

毎年お盆の前後に施餓鬼会が、各地で行われます。その施餓鬼会の由来は、お釈迦さまのお弟子の阿難尊者の逸話です。阿難尊者がある餓鬼から「三日後に死んで、餓鬼の世界に生まれるぞ」と驚き、恐れ、お釈迦さまにお尋ねしたところ、「餓鬼と修行僧に飲食を供養せよ」と教えられ、そのとおりにし、尊者は救われました。

この由来から施餓鬼会では、施餓鬼棚を設け三界万靈の位牌に洗米、水向けの供養をするのです。三界とは私どもが生まれかわり死にかわりするの世界の

新型コロナウイルスの騒ぎが終息しても、以前のような生活にはなかなか戻れません。そんな時だからこそ、花園会員の皆様は写経、坐禅をし

「男の修行」
鎌倉の円覚寺坐禅堂の入口に山本五十六さんの色紙があります。

苦しもあるだろう
泣き度いこともあるだろう
これらをじっとらえてゆくのが
男の修行である

山本五十六

ことあり、
万靈とありとあらゆる精靈のことです。
自分の家のご先祖だけでなく有縁、無縁すべての精靈に供養することの大切さを教えています。

今、新型コロナウイルスで想定外の日常です。先日、外出自粛や先行き不安のストレスから様々問題が懸念され、「怒りを感じたら、まず、六秒間やり過ごして」と新聞にありました。怒りのピークは、感じてから長くて六秒程度。深呼吸したり、その場を離れることです。要するに我慢してということです。

ただ慰めの言葉より、
お経がいいときもある。
奥本大三郎

フランス文学者で作家の奥本大三郎さんは、小学生の頃、病で長く臥せて何度も激痛に襲われ、そんな時、「代わってあげられたらいのにねえ」と人に言われるより、身近な人が傍(そば)で唱えてくれる般若心経のほうが、痛みが和らぐ気がした。

あの瞬間を僅かでもながらにしたかった。この時間を誰かと一緒に潜つ(くぐつ)てほしかったと自伝エッセーにあります。

お経で、いいね！お経を聞けば痛みや心が安らぎますよね。

ぜひとも、ご先祖供養と共に有縁無縁の精靈に供養する施餓鬼会の意義を忘れないで、和尚さんのお経で新型コロナウイルスから救われましょう。

規制も解除され、第二波、三波が心配されます。が、今後、油断なくご健方に留意されお元気に過ごされます事を

◆ こんな行事をしています ~各部の花園会活動~ ◆

令和元年十月二十九日札幌にて開催されました秋季特別布教・花園研修会に第一部各寺院の役員様が参加されました。布教師法話を拝聴し、六月の花園会交流会・十月の教区花園大会などの活動報告を受けました。第一部からは青壯年部会長阿部清光さま(法眼寺)と教区女性部会長畠山芳枝さま(正法寺)がそれぞれの活動を報告いたしました。ありがとうございました。

また、今年の十一月には本山奉仕団参画し、大阪・姫路方面への三泊・檀信徒の皆様と楽しい時間を共有する予定でした。が、この新型コロナウイルスの影響を受け残念ながら延期を余儀なくされました。来年北海道教区は本山団体参拝重点教区となっていました。さうに沢山のみなさまと共に参拝できることを願っています。現状のコロナ禍道民ともうひと踏ん張り生活様式を考え頑張って乗り越えたいものです。

当寺の事で恐縮ではございますが、昨年秋から、玄関入口に手水鉢を置いています。今年の春は鳥のさえずりがよく聞こえるなど感じていましたら、その手水鉢がカラスの水飲みに始まり小鳥の行水と鳥達憩いの場になってしまっています。少し汚れ減った手水鉢の水を入れ替えるのが毎朝の日課となっています。支笏湖の水は、湖沼水質調査で九年連続日本第一位。鳥たちにどうても美味しく気持ちがよいのでしょう。本来の手水鉢の役割ではあります。毎日ほっこりしています。合掌。

「教区第一部より」

北海道教区第一部 宗務支所長

苦小牧市 正法寺住職 中山瑞源

「教区第一部の行事」

北海道教区第二部 宗務支所長

鷹栖町 田中寺住職 船橋宣裕

「道東臨済宗花園会・少年少女研修会」

北海道教区第三部 宗務支所長

帯広市 大乗寺住職 豊田応道

私共第二部では毎年の行事として女性部研修会が挙げられます。今年度こそコロナ禍で中止となってしまいました。たが春先に趣向を凝らした内容を女性部役員が協議して決定します。

そこは女性部ならではの発想で、時には手芸であつたり押し花であつたりとなかなか男性には思いつかないような研修であることに驚かれます。また、講話であつても例えれば食事に関するものであつたり、服装の色味を学ぶものであつたりと楽しいながらも自分のためにもなるといったような活動であります。

こういった研修であれば自然に寺院に足を運ぶとなるきっかけにもうつてつけています。

どうしても男所帯になりがちな世界ですが普段の寺院行事でも女性部の役割が重要になっていきます。これから益々女性の力、視点が必要になっていきます。

こういった研修であれば自然に寺院に足を運ぶとなるきっかけにもうつてつけています。

毎年、少年少女研修会に出席する子供達から誠に素直な子、中には雄弁で知恵豊富な子と見受けますが、我々の昔を彷彿とさせられ思わず苦笑いの場面も多くあります。

先輩諸氏が後輩の面倒を又兄・姉ともう子供達に信頼と愛情を感じております。

二泊三日の禅寺体験学習が良い思い出に又苦難に及んだ時に立ち止まり心の糧となりますことを願つてやみません。

令和元年度【第二十八回道東臨済宗花園会主催・夏休み@禅寺すくーる】を計根別の大慶寺で開催されました。坐禅・法話・読経・写経・作務(掃除)・禅寺の作法による給仕と食事の作法等禅寺体験に加え、地域ながらの趣向を凝らした魅力あるイベント満載のスケジュールです。

最終日には「またみんなで会おうね」を合言葉に次年度へと続く少年少女研修会。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大で誠に残念なことに中止となります。振り返ると十年毎の節目に、世界規模の大きな大災害に見舞われていますが、天の神・仏は私達に何かをお告げでしょうか。





札幌禪センター



平成30年9月1日、「瑞龍寺・北海禪道会」は、臨済宗妙心寺派の「北海道教区大衆禪堂」として妙心寺派に公認され、臨済禪の普及啓蒙のための「札幌禪センター」が設置されました。妙心寺派の地方大衆禪堂としては初の公認で、禪センターとしては東京、名古屋に続く3カ所目となります。

瑞龍寺 北海禪道会



「北海禪道会」は、明治41年(1908年)、廢仏毀釈の法難の余震が未だ鎮まらぬ北海の地に、臨済禪に摺り己中の仏を求める八名の居士と、その師聖僧・松原盤龍老師の篤志により御身を削り、人々を活かすための「大衆道場」として創建され、大正4年(1915年)、その思い叶い、札幌円山のこの地に瑞龍寺が建立されました。

坐禅入門！まずは一步一緒に坐ってみましょう。



日程：毎週 土曜日
時間：14:00～15:30
(受付時間 13:50頃まで)
場所：瑞龍寺 禅堂
会費：月額 1,500円
(学生 500円)

写経会！まずは一步一緒に書きましょう。



日程：毎月 第2・第4 日曜日
時間：13:00～15:00(受付時間 12:50頃まで)
場所：瑞龍寺 瑞雲軒
参加料：1,000円(何枚書いても費用は同じです)
写経用紙・筆・硯・墨は用意しております。
(自分専用の筆をご持参頂いても構いません)

【住所】札幌市中央区南2条西21丁目1-8 瑞龍寺 札幌禪センター
【TEL】011-611-3228 **【FAX】**011-613-8458
【メール】info@sapporo-zen.org

●地下鉄の場合／東西線 西18丁目駅
東西線西18丁目駅2番出口から大通を円山方面へ約8分（駅のエレベーターを利用する場合は、1番か6番出口）セブンイレブン円山裏参道店向かいの道に入る

●お車の場合／駐車場20台
法要や大規模な葬儀の場合、駐車場スペースが不足することがあります。
(近隣のパーキングをご利用下さい) (本堂の裏、瑞龍寺月極駐車場向かいにタイムズパーキングがあります)

(発行人) 船場一讓
(編集者) 川邊正道
小畑瑞穂 船橋宣裕

△「窮して窮して変じて
通ず」大変な時である
からこそ、変わることが
重要なのかも知れない。
△ワクチンが出来上がる
迄は、規制が解除され
ても従来のよう人の往
來が戻る事は到底考
えられない。

△地球規模の
コロナウイルス
感染拡大は既
に半年を過ぎる。
△帰宅後の手洗い・うが
い・消毒など、個々の対
応や自粛はすっかり板
付いた。
△北海道は日本でも有
数の観光地。そしてそ
れに携わる旅行代理店・
観光バス・レジャー施設・
温泉地・ホテルも7割の
外国人観光客に依つて成
り立っていた。

後編 記集